取扱説明書

保証書別添付

日立電気掃除機

型式

CV-SP10

HITACHI
Inspire the Next



ごみダッシュサイクロン

日立サイクロン式クリーナー

このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→P.4〜5をお読みいただき、正しくご使用ください。

もくじ

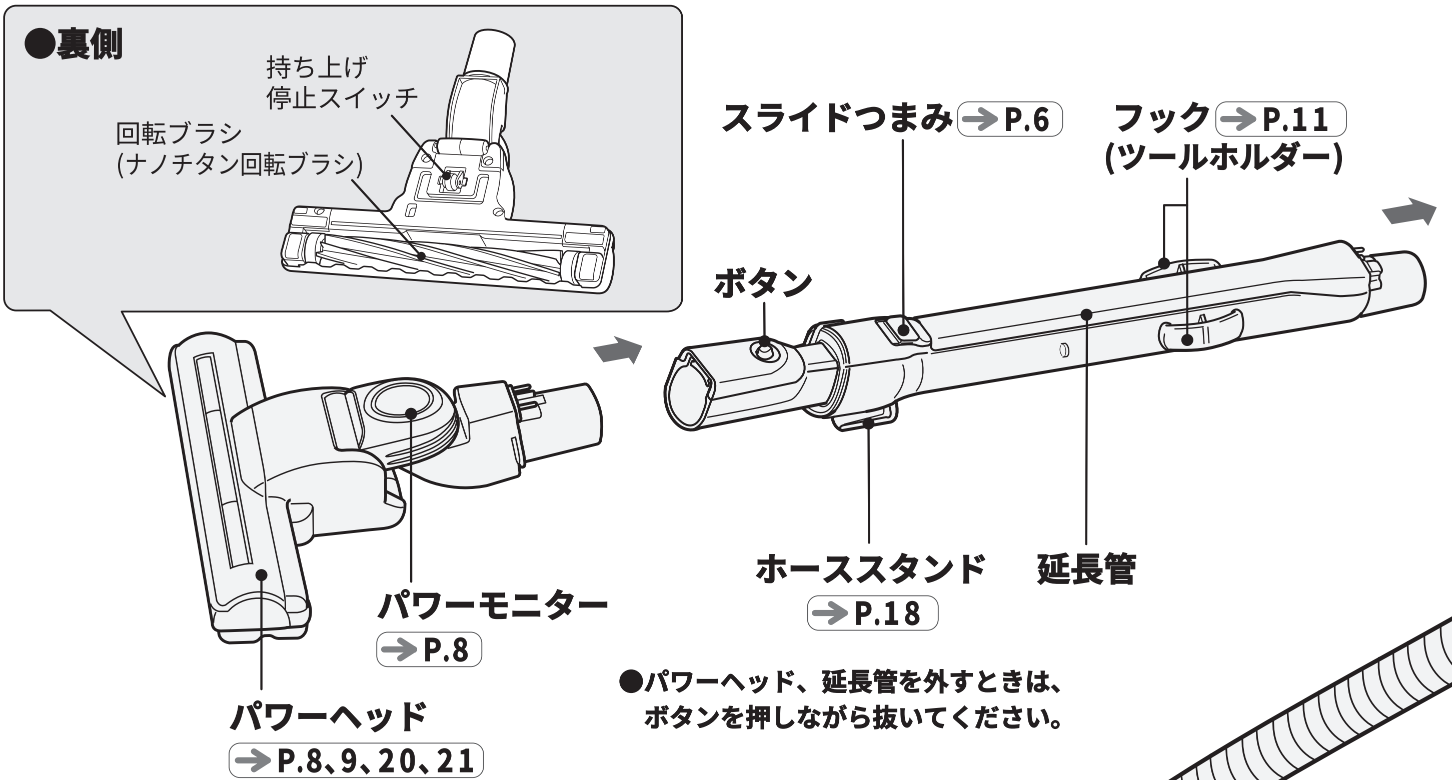
ご使用の前に

使いかた

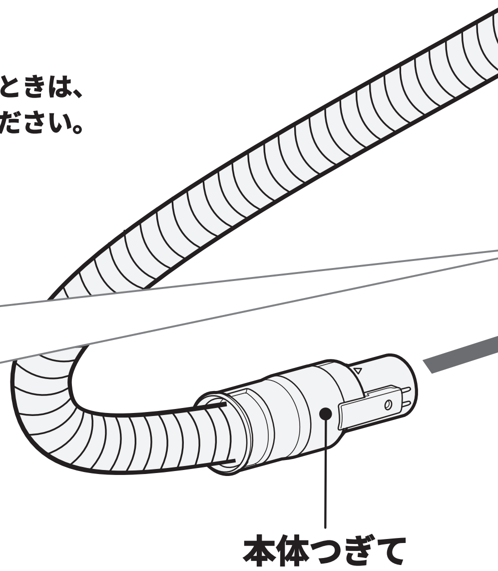
お掃除が終わったら

こんなときは

各部のなまえと組み立てかた



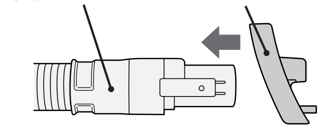
●パワーヘッド、延長管を外すときは、
ボタンを押しながら抜いてください。



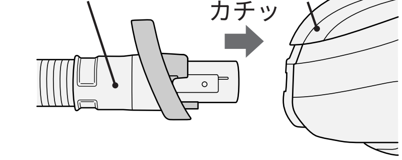
サッとハンドルの取り付けかた

●階段など狭い場所で本体を持ち運ぶときは、サッとハンドルを使うと便利です。

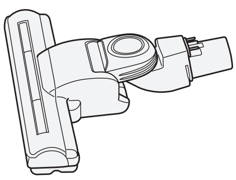
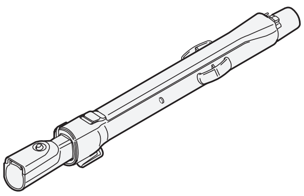
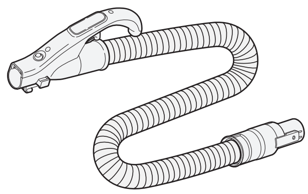
1 サッとハンドルを
本体つぎてに取り付ける



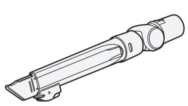
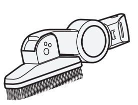
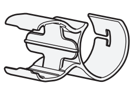
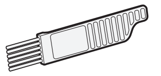
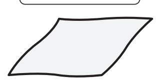
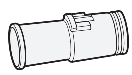
2 本体つぎてを
本体に差し込む

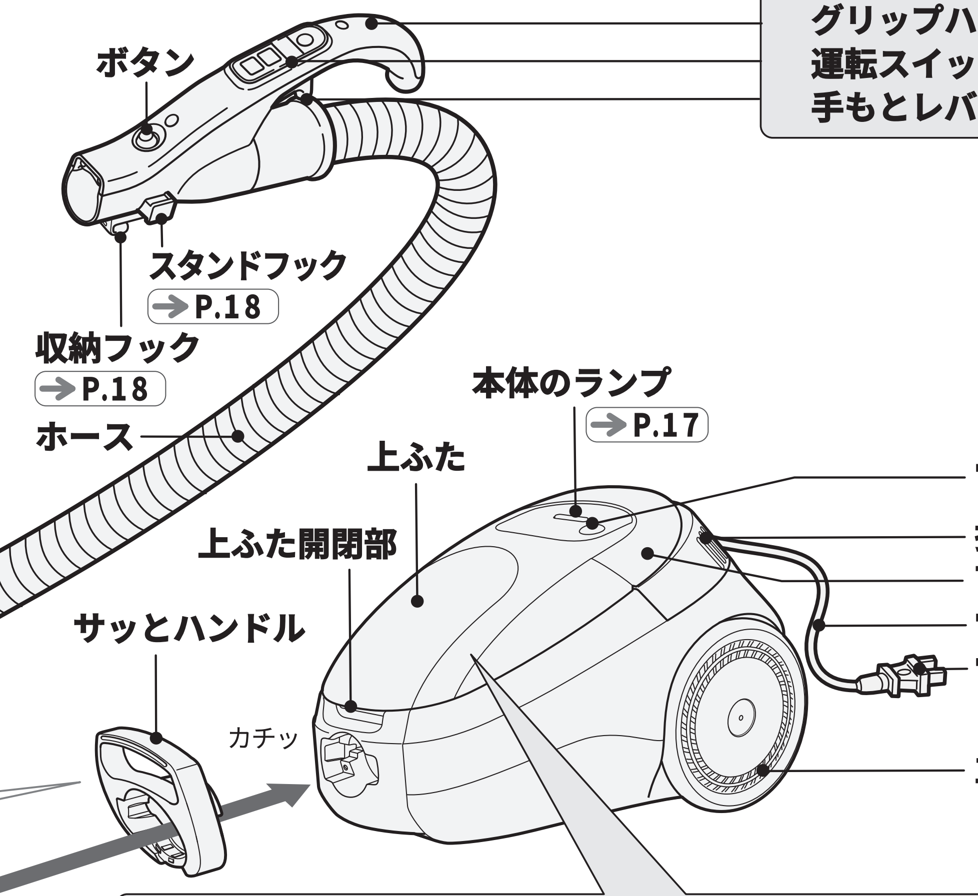


標準付属品

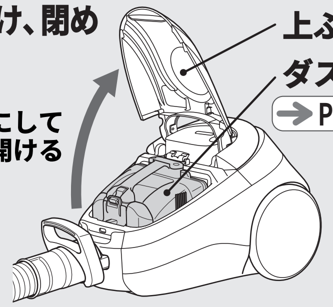
パワーヘッド（1個） (ワイドごみハンターヘッド)	延長管（1本） (サッとズームパイプ)	ホース（1本）
		

付属応用部品

ワイド曲がるロング吸口 ➔P.10、11		吸口ホルダー (SH5)(1個) ➔P.11	サッとハンドル （1個）	お手入れブラシ （1個） (ダストケース側面に取り付けられています)	ティッシュペーパー （1枚） (ダストケースに取り付けられています) ➔P.16	別売り部品接続用 アタッチメント （1個） ➔P.12
曲がるロング吸口 (D-SH5)(1個)	ワイドブラシ (SH5)(1個)					
						



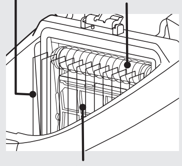
●上ふたの開け、閉め



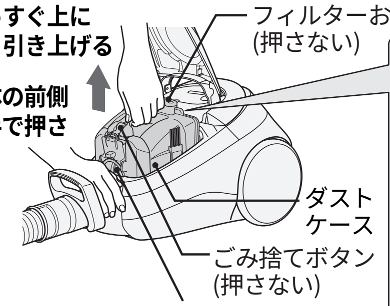
●ダストケースが取り付けられていない状態や、奥まで入っていない状態では上ふたが閉まりません。➔P.17

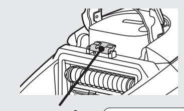
●ダストケースが奥まで入っていない状態で本体を運転した場合、「ピー」という音がすることがあります。

●除じん機構



ダストケースの取り外しかた



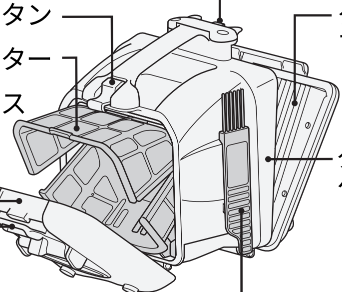


(ダストケース取り付け忘れ防止ストッパー)
ダストケースを取り外すとき、押す必要はありません。

お願い

●ダストケースを取り外すときは、「ごみ捨てボタン」や「フィルターお手入れボタン」を押したり、「集じん口」を下に向けないでください。
ごみがこぼれる場合があります。

ダストケースの構成



ごみ捨てボタンロック（本体からダストケースを取り外すと、自動的にロックが外れます）

お手入れブラシ（ダストケース側面に取り付けられています）

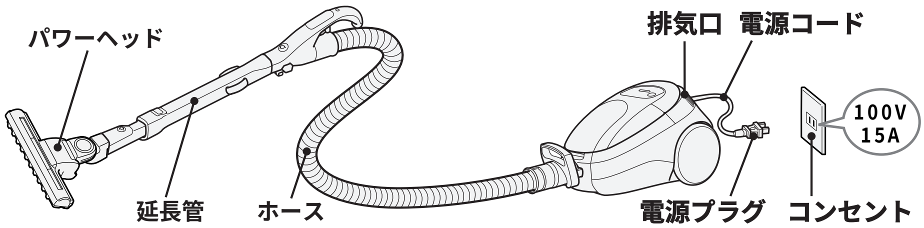
安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明
⚠ 「警告や注意を促す」内容のものです。
⊘ してはいけない「禁止」内容のものです。
● 必ず実行していただく「指示」内容のものです。



⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

- スイッチを押しても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- ホースが破れている
- こげくさい“におい”がする
- その他の異常がある

発煙・発火・感電のおそれがあります。
すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

電源(コンセント・プラグ・コード)

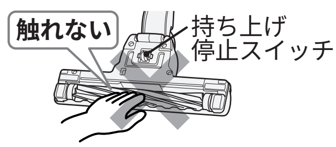
- **●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う**
- **●電源プラグは根元まで確実に差し込む**
- **●ごみ捨てやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く**
- **●ぬれた手で抜き差ししない**
- **●電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る**

- **●電源コードを傷つけない**
  (傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない)
- **●傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない**
- **●電源コードを回転ブラシに巻き込まない**

火災・感電の原因となります。

パワーヘッド(吸込口)

●回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない
けがの原因となります。
特にお子さまにはご注意ください。



そのほか

- **●引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで使用しない、吸わせない〔灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、可燃性ガス(スプレー)、たばこの吸い殻など〕**
- **●押しピン、針、つまようじ、じゅうたん洗浄剤などの泡のようなものを吸わせない**
- **●改造はしない。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない**
- **●水洗いや風呂場で使用しない(水洗いできる部品は除く)**

爆発・火災・感電・けがの原因となります。



⚠注意

電源(コンセント・プラグ・コード)

●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・発火の原因となります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電・発火することがあります。
●電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ
電源プラグが当たってけがをすることがあります。

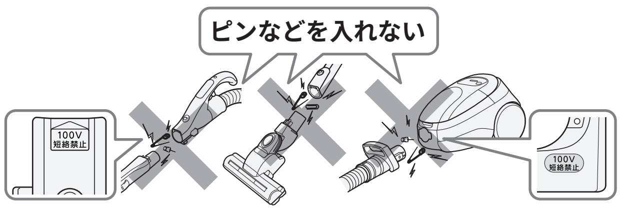
パワーヘッド(吸込口)

●運転中に吸込口をふさいで、スライドつまみをスライドさせたり、手もとレバーを引かない
延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。
●吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体、パワーヘッドの変形・発火の原因となります。
●ほかの製品に取り付けて使わない
過熱によるパワーヘッドの変形・発火の原因となります。



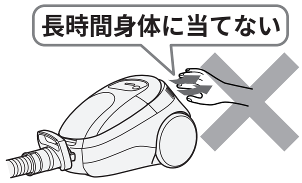
ホース・延長管

●ホースや延長管の先端で掃除をしたり、ホース差し込み口、ホース、延長管の接点にピンなどを入れない
ショート(短絡)して感電・発火の原因となります。



排気口

●排気口をふさがない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
●排気口から出る風を、長時間身体に当てない
低温やけどをすることがあります。



そのほか

●火気に近づけない
本体の変形によりショート(短絡)して感電・発火の原因となります。
排気により炎が大きくなり、火災の原因となります。
●ダストケースを取り外したまま、電源コードを引き出さない
スパイラルワイヤーやビートパネルで手などをけがすることがあります。

使用上のお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。
また、本文中の お願い 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

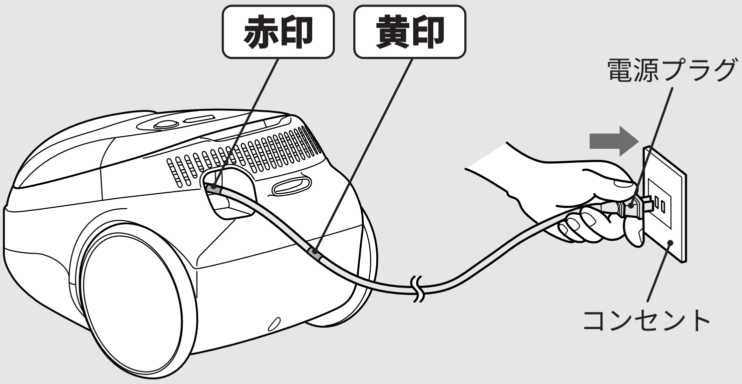
●電源コードは赤印以上無理に引き出さない
断線の原因となります。
●ホースや延長管の先端で掃除しない
接触不良や破損の原因となります。
●持ち運びするときは、ホースを持ってぶら下げない
ホースの破損の原因となります。
●本体に乗らない
故障の原因となります。
●次のようなものは吸わせない
異臭や故障の原因となります。
・水や液体 ・湿ったもの ・吸湿剤(湿気取り)
・多量の砂や粉・長いひも ・ガラス
●水洗い後は十分に自然乾燥させる
異臭や故障の原因となります。

運転のしかた

1 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

電源コードを引き出すと、「除じん機構」が働きます。

→ P.3



- **チリ落としの効果を出すため、お掃除のときは電源コードを黄印まで引き出してください。**
- **電源コードを引き出すとき、巻き取るときのカタカタ音は除じん機構の音ですので異常ではありません。**
- **電源コードを巻き取るときは、チリ落としをしません。**

⚠ 警告

火災のおそれあり
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う

- 延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用にならないでください。

⚠ 注意

けがのおそれあり

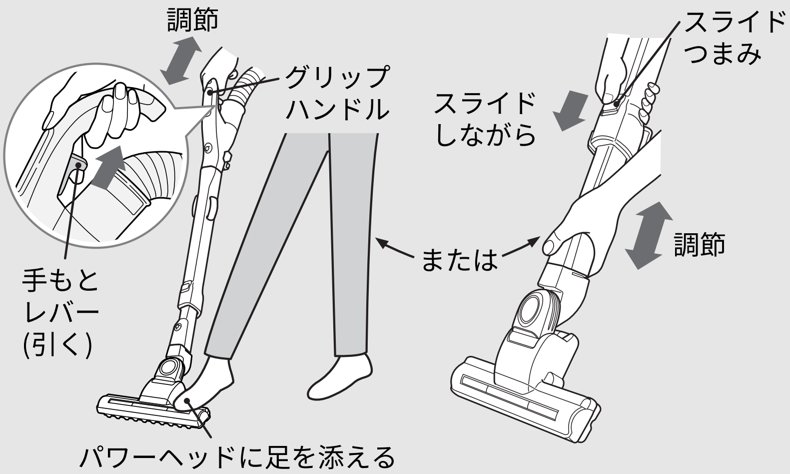
- ダストケースを取り付けてから、電源コードを引き出してください。スパイラルワイヤーの回転やビートパネルの振動で、手などをけがすることがあります。

お願い

- 電源コードは赤印以上引き出さないでください。断線の原因となります。

2 延長管の長さを調節する

パワーヘッドに足を添えて、手もとレバーを引きながらグリップハンドルを上下させる
または、スライドつまみをスライドしながら、延長管を伸縮させる



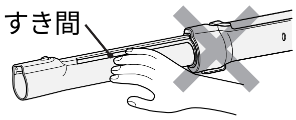
お願い

- 手もとレバーを使って延長管を伸ばすときは、確実にレバーを引いてください。パワーヘッドが外れることがあります。

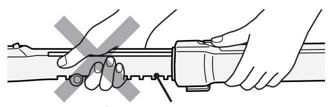
⚠ 注意

けがのおそれあり

- 運転中に手もとレバーを引いたり、スライドつまみをスライドさせたりしないでください。
  延長管が急に縮むことがあります。
- 延長管のすき間に手などを入れないでください。



- 掃除をするときや延長管を縮めるときは内パイプの凹凸部を持たないでください。
  手をはさむことがあります。



3 運転スイッチを押す

お好みで運転したいとき

押すごとに「強」→「中」→「弱」→「強」…の順に切り替わり、運転します。

- **強** **じゅうたんの念入りなお掃除に**
- **中** **ふつうのお掃除に**
- **弱** **ゆか、たたみなどのお掃除に**

本体の運転状態に合わせて、回転ブラシの回転速度が変わります。



回転ブラシ(パワーブラシ)の回転を止めたいとき

運転中に押すごとに「切」→「入」→「切」… の順に切り替わります。

本体の運転が止まっているときに、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、掃除機の運転は開始しません。また、回転ブラシも回転しません。

「これっきりエコボタン」で自動運転中は、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、回転ブラシの回転は止まりません。

自動で運転したいとき

「これっきりエコボタン」を押して運転すると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転を切り替えます。 ➔P.8

自動運転に合わせて、回転ブラシの回転速度も変わります。

お知らせ

センサーは、次のようなことを感知して自動で運転を切り替えます。

- **ゆか面の凹凸や傷み**
- **じゅうたんの毛の向きや倒れ具合**
- **パワーヘッドの操作速度および方向転換**
- **パワーヘッドの停止**

このため、同じようなゆか面をお掃除していても、運転が切り替わることがあります。

運転を止めたいとき

「切」スイッチを押します。

⚠注意

けがのおそれあり

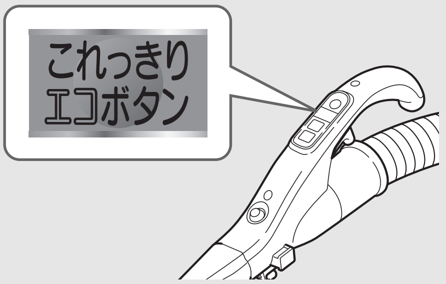
- 吸込口をふさいだ状態で、「強/中/弱」スイッチや「これっきりエコボタン」を押さないでください。
  ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

運転のしかた(続き)

「これっきりエコボタン」による自動運転について

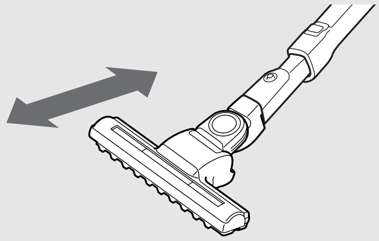
●「これっきりエコボタン」を押すと、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転を切り替えます。

1 「これっきりエコボタン」を押す



2 パワーヘッドを前後に動かす

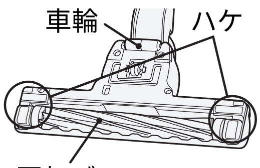
ゆか面に適した自動運転を開始します。



こんなときは…

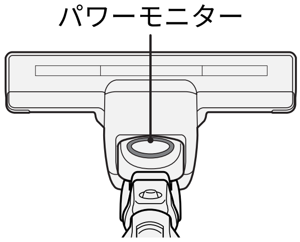
- **●パワーヘッドをゆか面から浮かせているときは、パワーヘッドを浮かせる前の運転状態を保ちます。**
- **●「これっきりエコボタン」で自動運転中に、パワーヘッドを取り外したときは、パワーヘッドを取り外す前の運転状態を保ちます。**
- **●パワーヘッドを取り外した状態で、「これっきりエコボタン」を押して運転を開始したときは、「強」運転を保ちます。**
- **●「これっきりエコボタン」で自動運転中は、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても回転ブラシの回転は止まりません。**

お願い ●パワーヘッドの車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗していると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを正しく感知できないことがあります。
磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします。➔ P.25、27



パワーモニターについて

●パワーモニターの色で、本体の運転状態や回転ブラシの回転速度をお知らせします。



本体の運転状態	強	中	弱
回転ブラシの回転速度	速い	◀━━▶	遅い
パワーモニターの色	赤	◀━━▶	緑

「これっきりエコボタン」で自動運転しているときは、運転状態に合わせてパワーモニターの色が3段階に変わります。

- **●パワーヘッドをゆか面から浮かせると、安全のために回転ブラシの回転が止まります。** ➔ P.9
- **●パワーヘッドの保護装置** ➔ P.22 **が働いているときは、パワーモニターは点灯しません。**
- **●「パワーブラシ切/入」スイッチで回転ブラシの回転を止めているときは、パワーモニターは点灯しません。**

お掃除のしかた

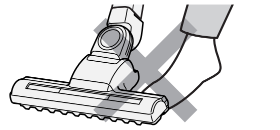
パワーヘッドの動かしかた

じゅうたん	**前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。** ●初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。
ゆか・たたみ	**ゆか面の傷つき防止のため、ゆかやたたみの目にそって動かします。**

⚠警告

けがのおそれあり

●パワーヘッドを引くときに、身体の一部(足の上など)に乗り上げないようにご注意ください。巻き込まれるおそれがあります。



⚠注意

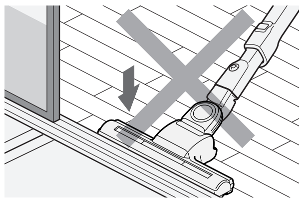
ゆか面に傷をつけるおそれあり

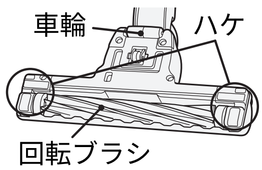
●ひのきやクッションフロア※などのやわらかいゆかの場合、運転中はパワーヘッドを同じ位置に止めたままにしないでください。
また、パワーヘッドをゆか面に強く押し付けないでください。

●車輪にごみが絡みつくと、車輪が磨耗する原因となります。
定期的にお手入れしてください。➔ P.20

●車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします。➔ P.25、27

※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いたクッション性のあるゆか材のことです。



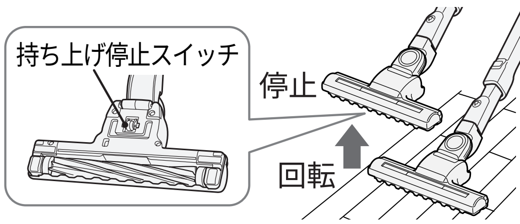


お願い ●ゆか面の種類によっては、操作が重くなることがあります。
このときは「弱」運転に切り替えてください。

パワーヘッドの持ち上げ停止スイッチについて

パワーヘッドをゆか面から浮かせると、安全のために持ち上げ停止スイッチが働いて、回転ブラシの回転が止まります。

●持ち上げ停止スイッチ部のお手入れは ➔ P.20



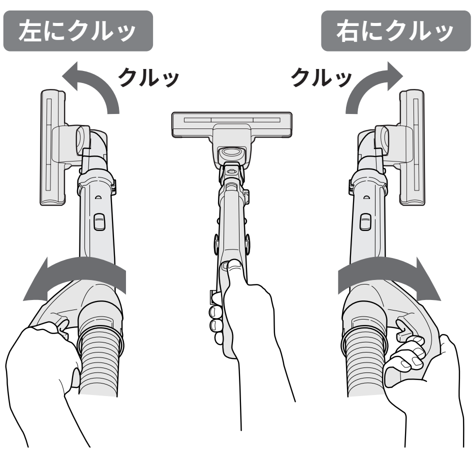
⚠警告

けがのおそれあり

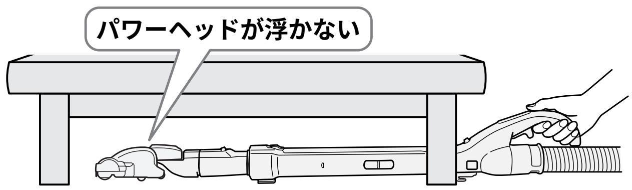
●パワーヘッドの回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れないでください。
回転ブラシが回転することがあります。特にお子さまにはご注意ください。

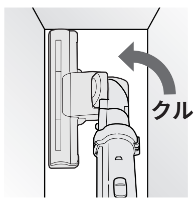
クルッと構造・ペタリンコ構造

グリップハンドルをひねると、パワーヘッドの向きが変わります。



ベッドの下など低い場所でも奥までしっかりお掃除できます。また、パワーヘッドをクルッと回してすき間もスムーズにお掃除できます。

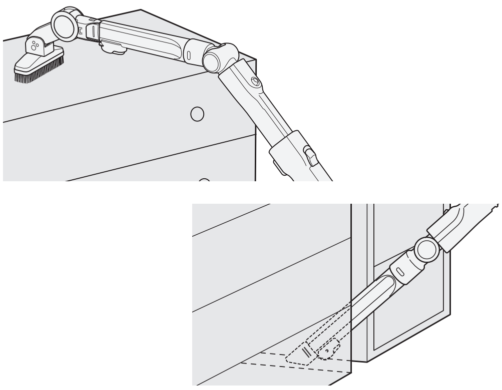




お掃除のしかた(続き)

ワイドに曲がるロング吸口(D-SH5)

●家具の上やすき間の奥まで届く、先が細い伸縮自在の吸口です。

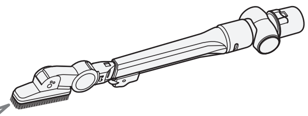


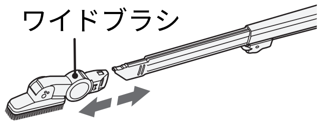
⚠ 注意

傷をつけるおそれあり

●ピアノなど特に傷つきやすい場所には押し付けないでください。

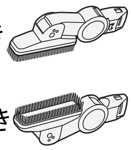
●延長管または手もと操作部に取り付けてご使用ください。

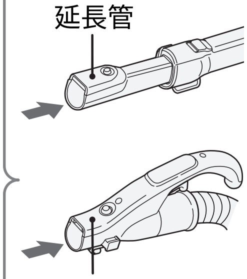




・ワイドブラシを取り外すときは、ワイド曲がるロング吸口を完全に伸ばし、強く引っ張ってください。

ワイドブラシはどちら側でも取り付けられます。

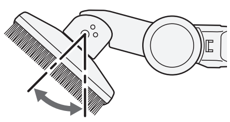




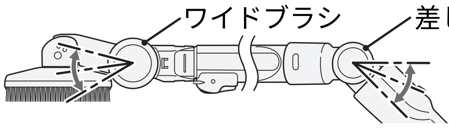
●ワイドブラシのみを延長管または手もと操作部に取り付けることもできます。

●お掃除する場所に合わせ、様々な角度や長さに変えられます。

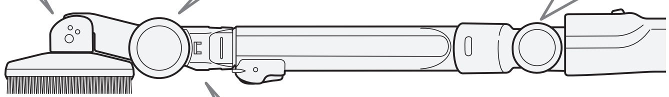
●2つの角度が選べます。



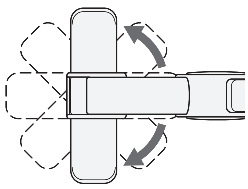
●3つの角度が選べます。



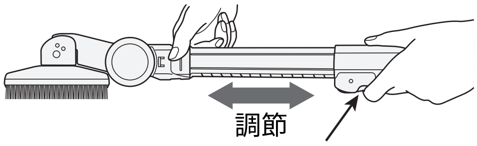
・延長管または手もと操作部を持って角度を変えてください。



●ワイドブラシの先端は360 回転します。45 ずつ回転させて角度を選んでご使用ください。

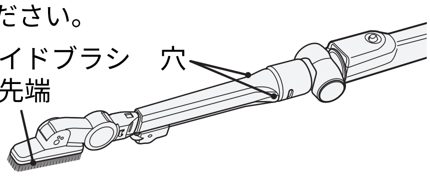


●使いやすい長さに変えられます。

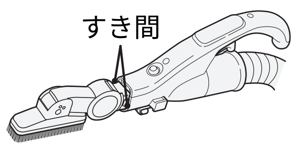


お願い

●お掃除のときは、主にワイドブラシの先端から空気を吸い込んでいますが、ワイドブラシにごみが詰まった場合は、本体モーターの過熱を防ぐために、手元側の穴(2か所)から吸い込む空気の量が増えます。このため、ワイドブラシと穴(2か所)に詰まったごみを取り除いてご使用ください。



●ワイドブラシのみを延長管または手もと操作部に取り付けてご使用の際に、すき間 (2か所) とワイドブラシにごみが詰まった場合は、ごみを取り除いてご使用ください。

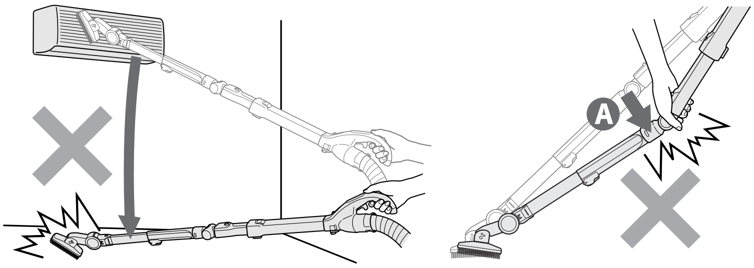


●ワイドブラシの先端や内側に綿などのごみが詰まっている場合は、吸込力が低下しますので、ごみを取り除いてください。

●手元側の穴に綿などのごみが詰まっている場合は、本体モーター保護のため、ごみを取り除いてください。

お願い

- ●ワイド曲がるロング吸口やワイドブラシを使用するときは、高所から落下させたり、Aの矢印の方向に無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- ●ワイド曲がるロング吸口の長さを変えるときは、ロックボタンを押しながら伸縮させてください。無理に引っ張るなどすると、破損するおそれがあります。

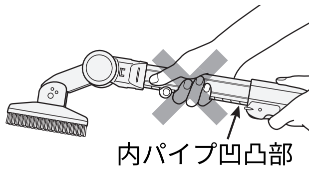


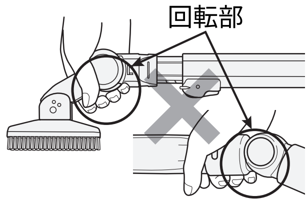
- ●ワイド曲がるロング吸口は水洗いができます。水洗い後は、十分に自然乾燥させてからご使用ください。水を吸い込むと、故障するおそれがあります。

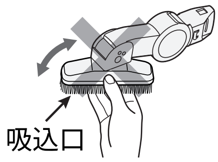
⚠注意

けがのおそれあり

- ●運転中にロックボタンを押さないでください。ワイド曲がるロング吸口が急に縮むことがあります。
- ●ワイド曲がるロング吸口を縮めるときは、内パイプの凹凸部を持たないでください。手を挟むことがあります。
- ●角度を変えるときは、回転部を持たないでください。手を挟むことがあります。
- ●ワイドブラシの吸込口に指を入れたまま回転させないでください。指を挟むことがあります。



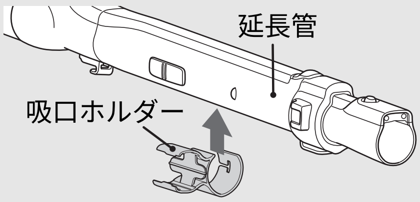




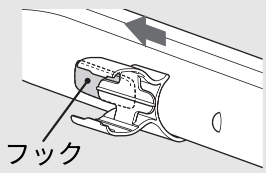
付属の吸口ホルダーを延長管に取り付けて、収納することができます。

1 延長管に吸口ホルダーを固定する

1 延長管に吸口ホルダーを取り付ける。

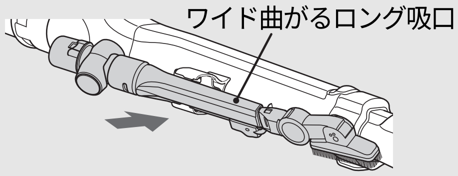


2 吸口ホルダーをスライドさせてフックに固定する。

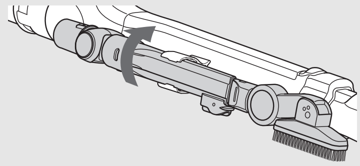


2 吸口ホルダーにワイド曲がるロング吸口を取り付ける

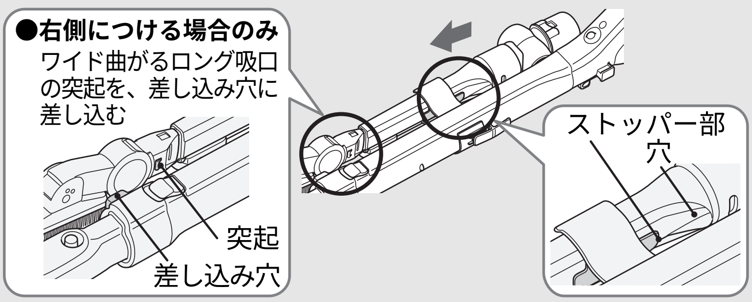
1 ワイド曲がるロング吸口を吸口ホルダーに入れる。



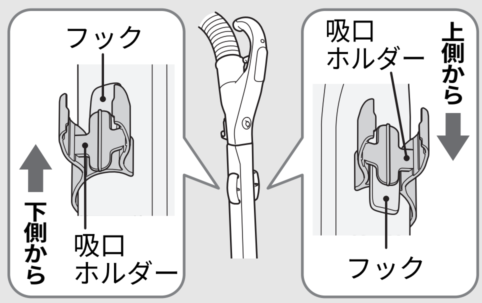
2 矢印の方向に回転させてはめ込む。



3 ワイド曲がるロング吸口の穴にストッパーを差し込む。



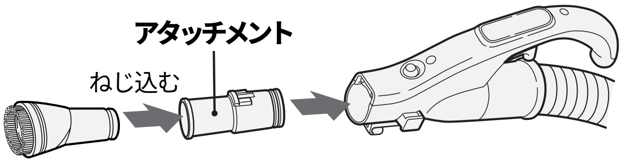
吸口ホルダーは、左右どちら側にも取り付けられます。



お掃除のしかた(続き)

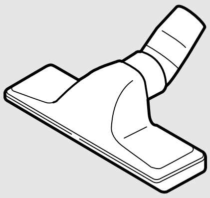
あると便利な別売り吸口

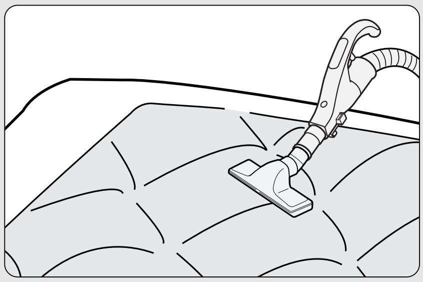
●付属の別売り部品接続用アタッチメントを使うと、別売りの吸口がご使用できます。 **➔ P.26**
アタッチメントは、手もと操作部または延長管に取り付けてご使用ください。



■ふとん用吸口(G-52)

ふとんを傷めず、ダニ・ホコリ・糸くず
などを吸い取る吸口です。
(「弱」運転でご使用ください)
水洗いができます。

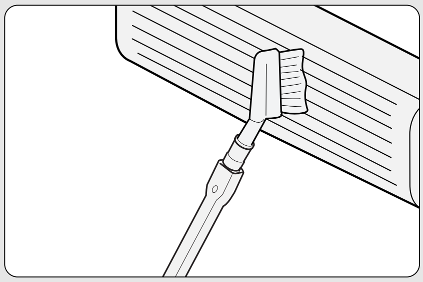




■はたき吸口(D-H3)

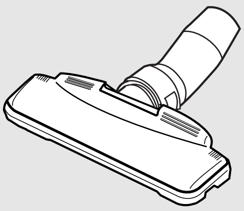
はたき感覚で、エアコン、ブラインド、
家具などをお掃除する吸口です。
ブラシ部分は水洗いができます。

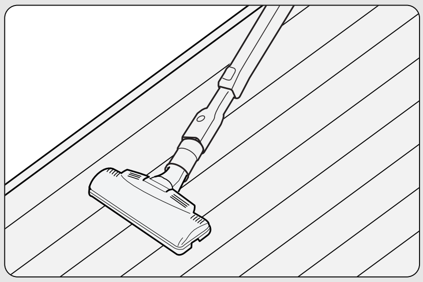




■丸洗いフローリングヘッド(D-F3)

フローリング、たたみに適した大きめの
拭き専用ブラシ付きの吸口です。
(「中」「弱」運転でご使用ください)
水洗いができます。

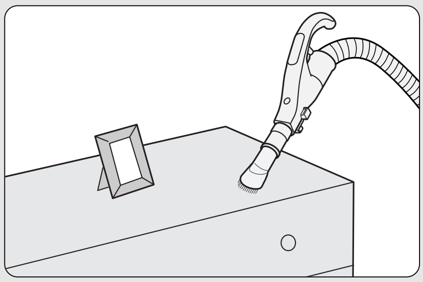




■棚用自在吸口(D-TJ2)

吸口の角度を変えて、棚の上などを
お掃除する吸口です。
水洗いができます。

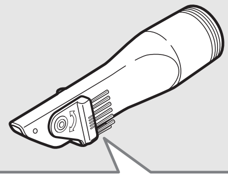




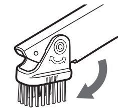
■クルッと切替えブラシ吸口

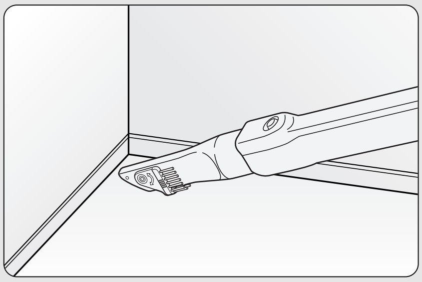
狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。
お掃除する場所に合わせて、先端の切替えブラシを装着できます。

別売り部品接続用アタッチメントは必要ありません。



切替えブラシを装着できます。

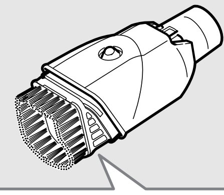




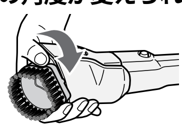
■クルッとブラシ

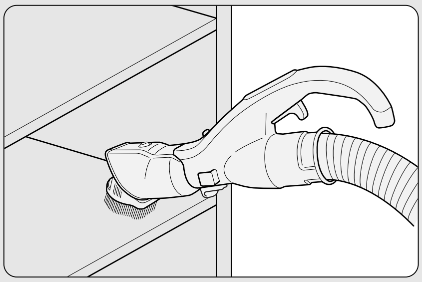
棚の上やすき間をお掃除する吸口です。
ブラシを回して角度が変えられます。

別売り部品接続用アタッチメントは必要ありません。



ブラシの角度が変えられます。





ごみの捨てかた

●サイクロン方式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込み力でお掃除していただくためには、こまめなごみ捨て、フィルターのお手入れをおすすめします。

●お掃除が終わったら、ダストケースを取り外し ➔ P.3、
1「立体フィルター」と 2「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。
●本体のランプで、ごみ捨ての目安をお知らせします。➔ P.17
●ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。➔ P.16

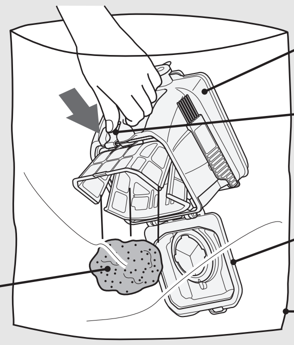
⚠警告
感電・けがのおそれあり
●ごみ捨ての際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い ●ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。

1「立体フィルター」のごみの捨てかた

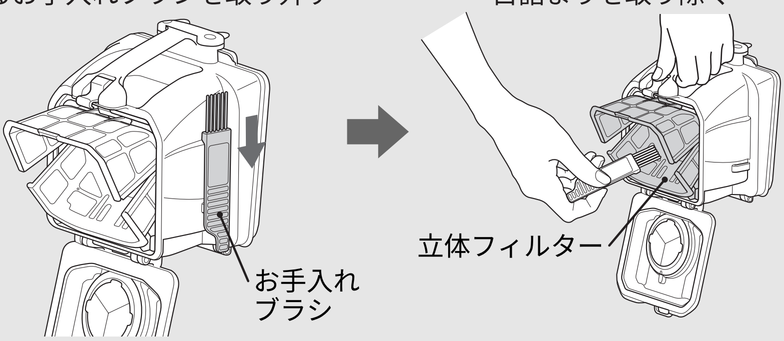
1 ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、ごみ捨てボタンを押す

ダストケースフタを下に向けてごみ捨てボタンを押し、ごみを捨てる



お願い
●ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

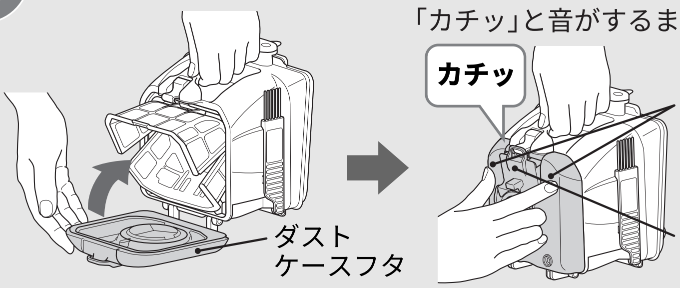
2 立体フィルターに付着したごみを取り除く



⚠注意
けがのおそれあり
●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。けがをしないよう注意して取り除いてください。

●立体フィルターは取り外してお手入れできます。➔ P.19

3 ダストケースフタを閉める



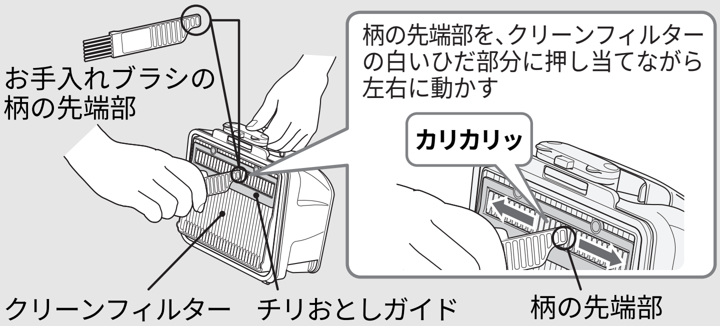
●ごみ捨てボタンロックを押したままダストケースフタを閉めようとしても閉まりません。

2「クリーンフィルター」のごみの捨てかた

1 クリーンフィルターのチリを落とす

お手入れブラシの柄の先端部を、クリーンフィルターの白いひだ部分に押し当てながらチリおとしガイドにそわせて、左右に5往復程度動かす

●これによりクリーンフィルターが振動し、付着したチリがダストケース内に落ちます。

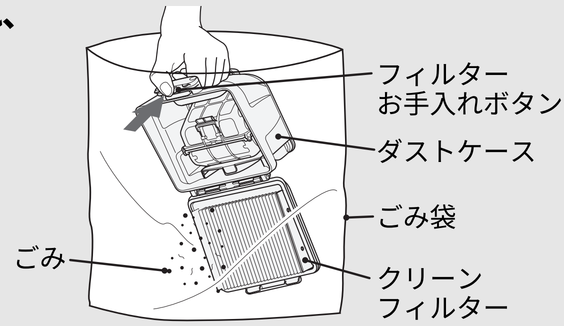


お願い ●柄の先端部を強く押し当てすぎるとクリーンフィルターが破れることがあります。軽く押し当ててください。

2 ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、フィルターお手入れボタンを押す

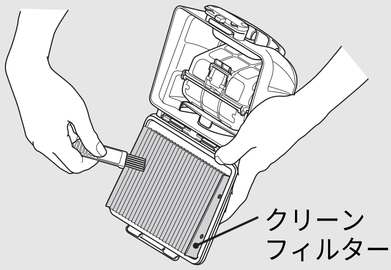
クリーンフィルターを下に向けてフィルターお手入れボタンを押し、ごみを捨てる

●クリーンフィルターを軽くたたいて付着したごみを落としてください。

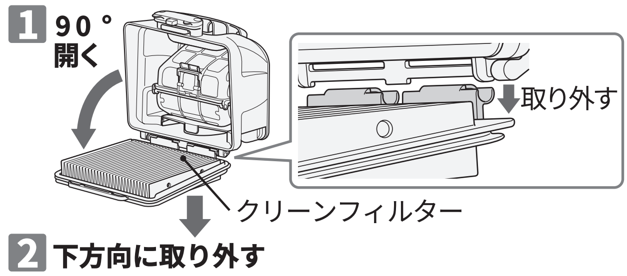


3 クリーンフィルターに付着したごみを取り除く

クリーンフィルターのひだを広げて、奥にたまったごみをお手入れブラシで取り除く



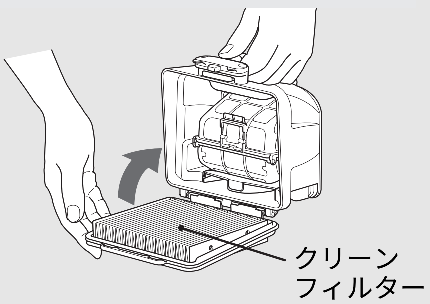
●取り外してお手入れすることもできます。



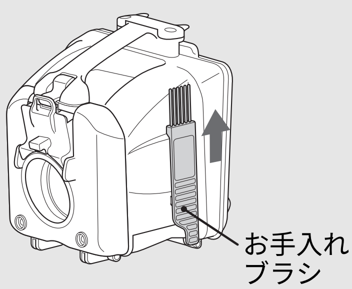
●お手入れ後は、取り外した逆の手順で取り付けてください。

4 クリーンフィルターを閉め、お手入れブラシを取り付ける

1「カチッ」と音がするまで閉める



2 ダストケース側面にお手入れブラシを取り付ける

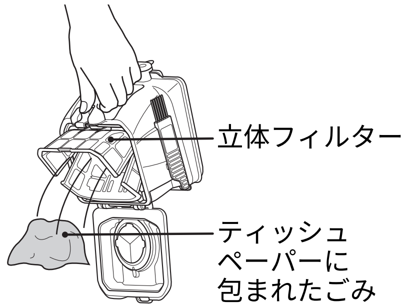


ごみの捨てかた(続き)

3 ティッシュペーパーを取り付ける場合

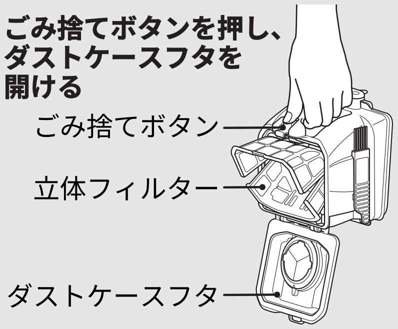
●ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。

お願い
●ティッシュペーパーは市販されている2枚重ねのものをご使用ください。
●ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。

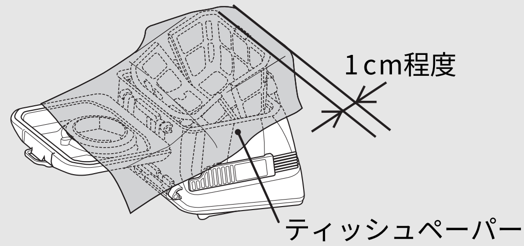


1 ティッシュペーパーを広げて、立体フィルターにのせる

ごみ捨てボタンを押し、ダストケースフタを開ける

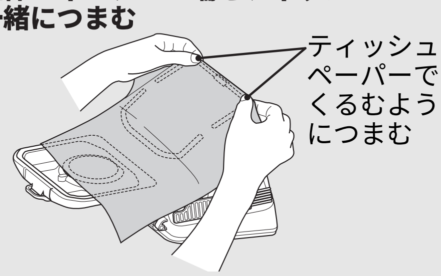


ティッシュペーパーの端が、立体フィルターの端から1cm程度はみ出すようにのせる



2 立体フィルターをごみ捨てボタンのつめに引っ掛ける

立体フィルターの端をティッシュペーパーと一緒につまむ



立体フィルターをごみ捨てボタンのつめに引っ掛ける



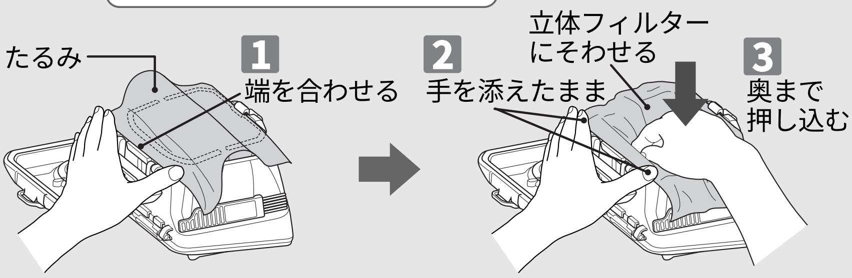
3 ティッシュペーパーを立体フィルターの奥まで押し込む

1 ティッシュペーパーの端に手を添え、ダストケースの端に合わせる(中央にたるみができます)

●ティッシュペーパーを折りたたむ必要はありません。

2 ティッシュペーパーの端に手を添えたまま、

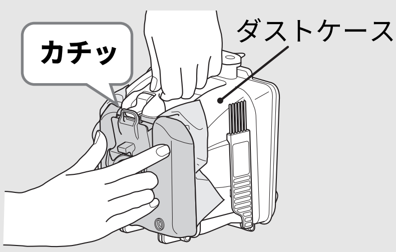
3 立体フィルターにそわせて奥まで押し込む



●ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがありますが異常ではありません。
●ごみ捨て時にティッシュペーパーが破れていても異常ではありません。

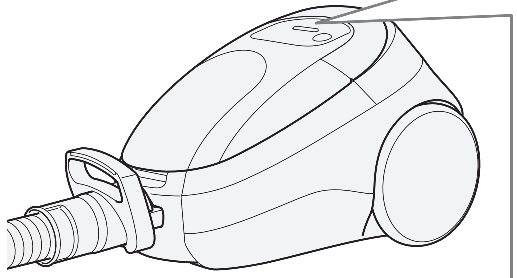
お願い
●立体フィルターにごみが付着した場合は、付属のお手入れブラシで取り除いてください。

4 ダストケースフタを閉める



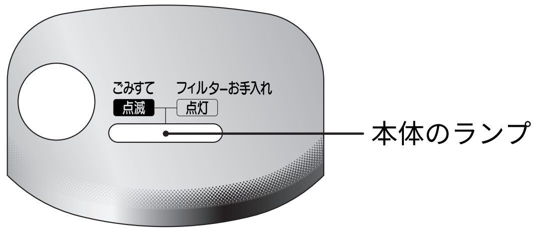
●ティッシュペーパーはダストケースからはみ出したままで問題ありません。
●ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が10W程度下がります。

本体のランプ(ごみすて/フィルターお手入れ)について



点滅 ごみ捨てのお知らせ(目安)です。 ➔P.14、15

点灯 フィルターお手入れ(水洗い)のお知らせ(目安)です。 ➔P.19



「弱」運転状態のときは、点滅／点灯しません。
「これっきりエコボタン」「中」運転状態のときは、点滅しません。

こんなときは…

●細かい砂ごみ、土ぼこりを吸わせたとき
少量のごみでも「本体のランプ」が点滅／点灯することがあります。
このようなときは、ごみ捨て／フィルターのお手入れ（水洗い）をしてください。

●綿ごみなどが多いとき
ごみがいっぱいになっても「本体のランプ」が点滅／点灯しないことがあります。
お掃除が終わったら「立体フィルター」と「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。

●毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたときや、ワイド曲がるロング吸口をご使用のとき
吸い込み風量が少なくなるため、ごみの量に関係なく「本体のランプ」が点滅／点灯することがありますが、そのままご使用いただけます。

●ティッシュペーパーを取り付けたとき
通常より早期に「本体のランプ」が点滅／点灯することがあります。
このようなときは、ごみ捨て／フィルターのお手入れ（水洗い）をしてください。

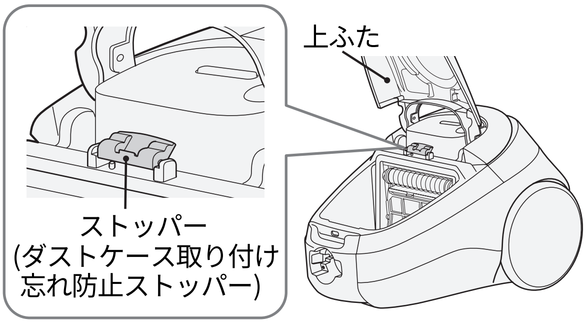
●延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用のとき
電源電圧の低下により、早期に「本体のランプ」が点滅／点灯することがあります。
定格１５A以上のコンセントを単独でご使用ください。

●「本体のランプ」が点滅したまま運転を続けたとき
「本体のランプ」が点灯することがあります。
「立体フィルター」と「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。

上ふたのストッパーについて

ダストケースの取り付け忘れを防ぐため、ダストケースが取り付けられていない状態では、ストッパーの働きにより、上ふたが閉まりません。ダストケースを取り付けてから上ふたを閉めてください。

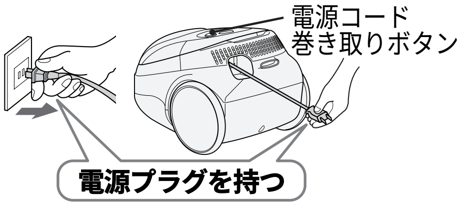
●ダストケースが取り付けられていない状態で上ふたを無理に押さえると、上ふたやストッパーが破損するおそれがあります。



あとかたづけ

電源コードの巻き取りかた

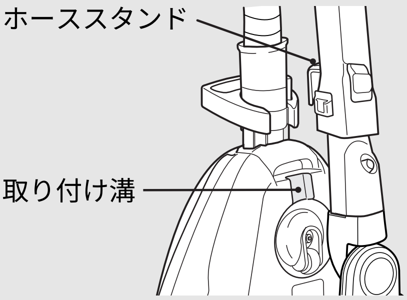
電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのマーク部(⏚)を押しながら、電源コードを巻き取ってください。



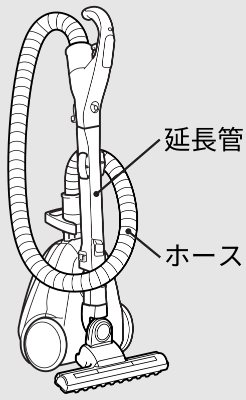
⚠ 注意	**けがをする・家具に傷をつけるおそれあり** ●電源プラグを抜くとき・電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持ってください。

収納のしかた

1 **延長管を縮めて ➔ P.6 取り付け溝にホーススタンドを差し込む**



2 **ホースを延長管に巻きつける**

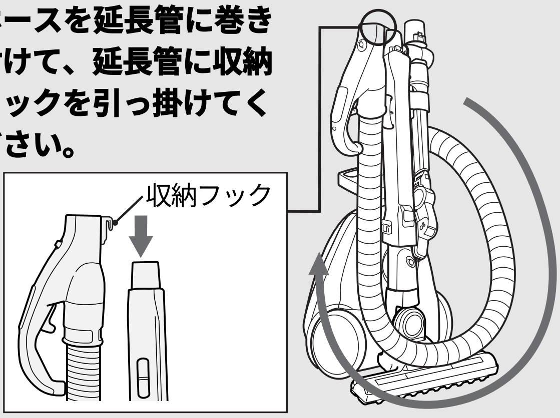


さらにコンパクトに収納したいとき

●手もと操作部を延長管から外してください。 ➔ P.2、3

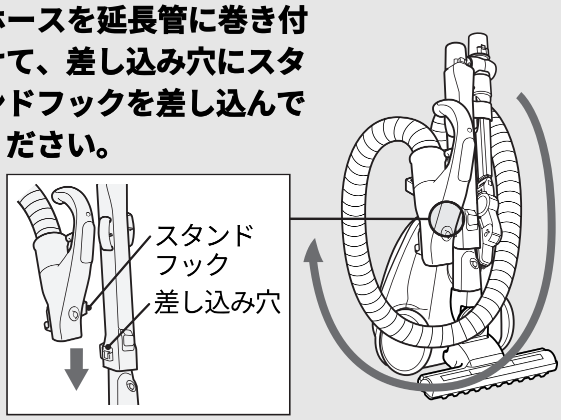
サッと収納

ホースを延長管に巻き付けて、延長管に収納フックを引っ掛けてください。



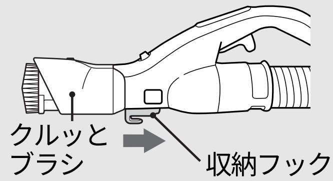
コンパクト収納

ホースを延長管に巻き付けて、差し込み穴にスタンドフックを差し込んでください。

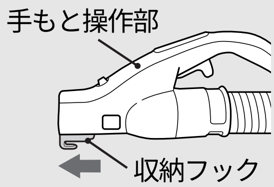


収納フック

- **収納フックは別売りのクルッとブラシ接続時などに移動することができます。**



- **サッと収納のときは、収納フックを手もと操作部の先端側へ移動してご使用ください。**



⚠ 注意	**けがのおそれあり** ●収納状態のままで持ち運ぶと、ホースや延長管が外れることがあります。

お願い
●ストーブの近くや直射日光が長時間当たるなど、高温になる場所での収納はしないでください。ホースの変形や故障の原因となります。
●ホースがつぶれたり、折れ曲がるなど、変形するような状態での収納はしないでください。

吸込力が弱くなったら

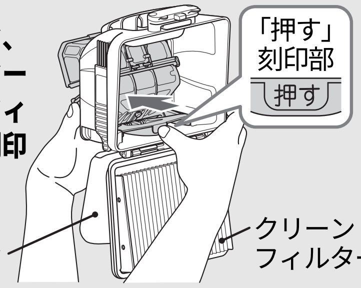
クリーンフィルターのごみを捨てても「吸込力が回復しない」、「本体のランプが点灯した」とき

●各フィルターを水洗いし、十分に自然乾燥させてください。
乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

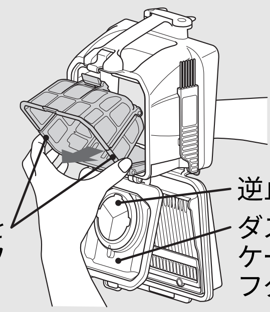
立体フィルター

1 立体フィルターを取り外す

1 ダストケースフタ、クリーンフィルターを開けて、立体フィルターの「押す」刻印部を指で押す



2 立体フィルターを取り外し、各フィルター、ダストケースを水洗いする



⚠注意

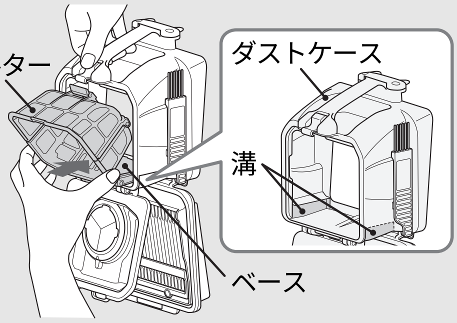
けがのおそれあり

●分解するときは、「押す」刻印部を押してください。
●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。
けがをしないよう注意して取り除いてください。

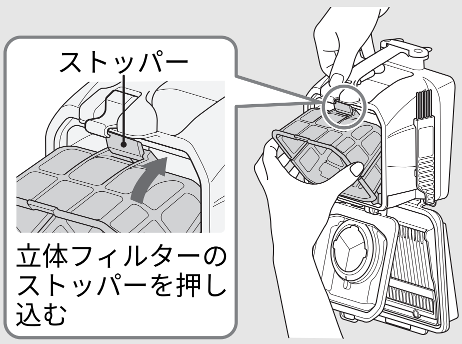
お願い ●立体フィルターを強く押して洗わないでください。破損の原因となります。
●逆止弁を引っ張らないでください。破損の原因となります。

2 立体フィルターをダストケースに取り付ける

1 立体フィルターのベースをダストケースの溝に差し込む



2 立体フィルターを元どおり取り付ける



クリーンフィルター

●ひだを広げて奥にたまったごみを水で流してください。
●取り外してお手入れすることもできます。➔ P.15



フィルター(アレルオフフィルター)

1 フィルターカバーを取り外し、フィルターを取り外す



2 水で軽くもみ洗いする

●たたいて水気を切り、自然乾燥させます。



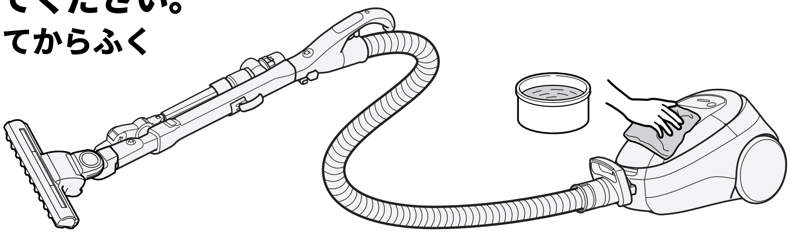
お願い **●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤、漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。**
また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因となります。
●付着しているごみやほこりは、軽く落としてから水洗いしてください。
●付属のお手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。破損の原因となります。
●ダストケースおよび各フィルターは、取り付けて運転してください。
モーターにごみが入り、故障の原因となります。
●各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、フィルターの劣化が考えられます。
各フィルターの取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。➔ P.25、27

お手入れのしかた

⚠警告	感電・けがのおそれあり ●お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体・付属品・付属応用部品

●汚れが気になるときはお手入れしてください。
水を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふく



お願い ●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などは使用しないでください。
変色、変形などの原因となります。

パワーヘッド

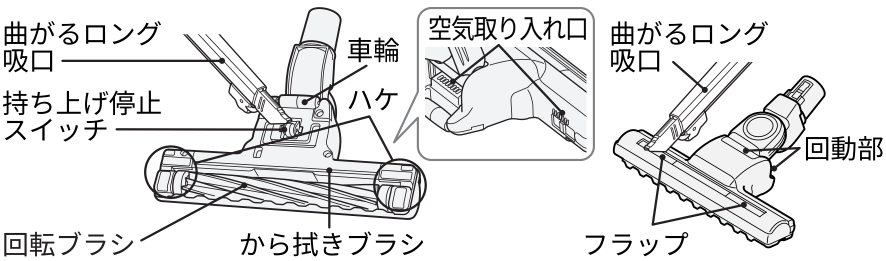
●吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。
●定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。

持ち上げ停止スイッチ、回転ブラシ、から拭きブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口、フラップ、回動部にごみが付着していると、吸込力の低下や故障の原因となります。

お願い ●パワーヘッドは、延長管や手もと操作部から取り外してお手入れしてください。

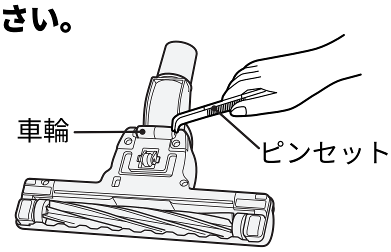
付着したごみを取り除く

付着したごみやフラップに入り込んだごみを、曲がるロング吸口を使って吸い取ってください。



車輪に絡みついたごみを取り除く

ピンセットなどで取り除いてください。



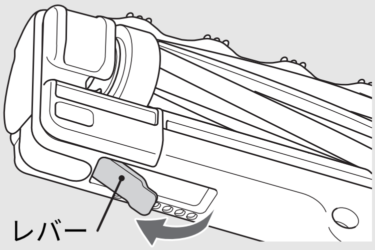
⚠注意	ゆか面に傷をつけるおそれあり ●車輪にごみが絡みつくと、車輪が磨耗する原因となります。 ●車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。(車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします) ➔ P.25、27

お願い ●持ち上げ停止スイッチに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

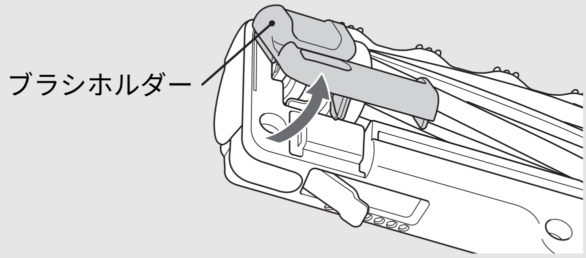
回転ブラシをお手入れする

1 ブラシホルダーを取り外す

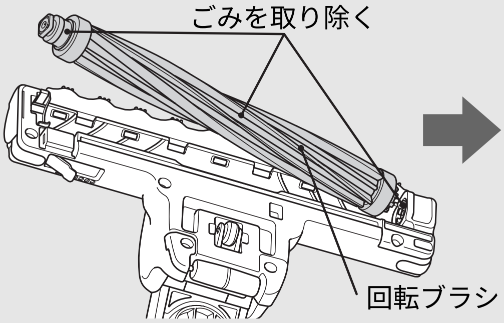
1 パワーヘッドを裏返してレバーを開く

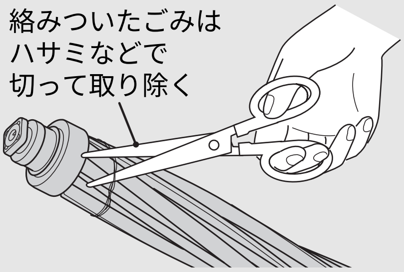


2 ブラシホルダーを取り外す



2 回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く



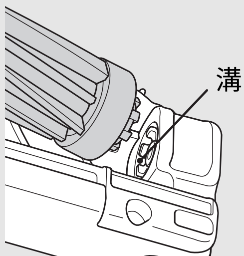




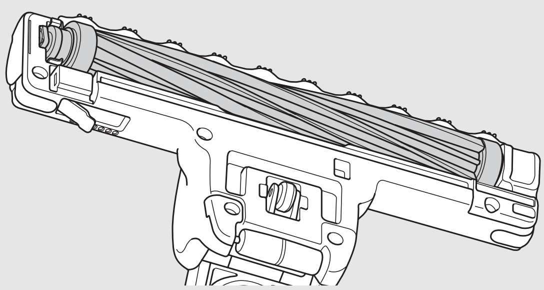
お願い
- ●洗剤、漂白剤などは使用しないでください。
  変色、変形などの原因となります。
- ●回転ブラシを水洗いした場合は、十分に自然乾燥させてから取り付けてください。

3 回転ブラシを取り付ける

1 回転ブラシを溝に合わせる

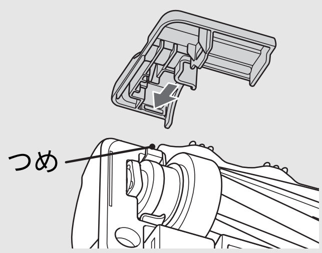


2 元どおり取り付ける

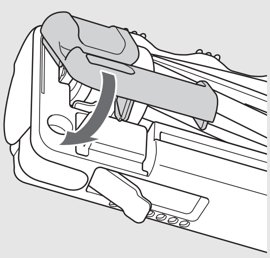


4 ブラシホルダーを取り付ける

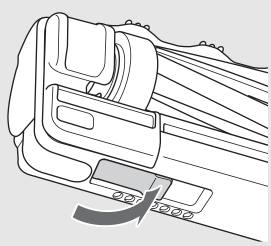
1 つめを引っ掛ける



2 ブラシホルダーを取り付ける



3 レバーを閉める

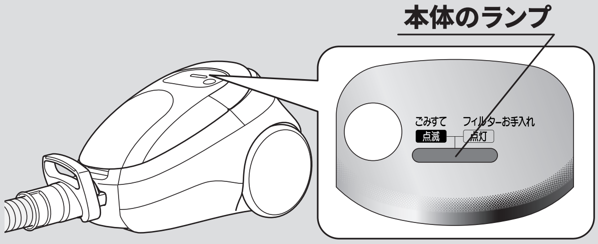
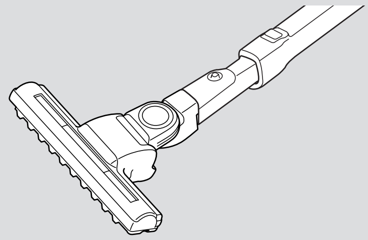


故障かなと思ったら

修理を依頼される前に
次の点をもう一度お調べください

本体が運転できない、パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

保護装置が働いている場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。

本体が運転できない	パワーヘッドの回転ブラシが回転しない
	

保護装置と原因

本体が運転できない

本体のランプが点灯したまま運転を続けると、本体モーターの過熱を防ぐために、自動的に「弱」運転になります。
さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。

- フィルターのごみ詰まり
- 吸込口をふさいだままの運転
- ホース・延長管のごみ詰まり

パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

回転ブラシに異物をはさみ込むなどした状態で運転を続けると、パワーヘッドモーターの過熱を防ぐために、自動的に回転ブラシの回転を停止します。

- 異物のはさみ込み
- ゆかやじゅうたんなどへの押し付け

直しかた

「切」スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜く

↓

本体が運転できない

- ごみ捨て/フィルターのお手入れ(水洗い)をする ➔ P.14～16、19
- 吸込口をふさいでいるものを取り除く
- ホース･延長管に詰まったごみを取り除く

パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

- 回転ブラシにはさみ込んだ異物を取り除く ➔ P.20、21

↓

約5分後～60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。

■その他の症状

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
吸込力が弱い	(1)ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。 (2)各フィルターにごみが付着していませんか。	(1)ごみを捨ててください。	P.14 P.15
		(2)各フィルターのお手入れをしてください。	P.19
ダストケースのごみがいっぱいになっていないのに吸込力が弱い 本体のランプが点滅／点灯する	(1)各フィルターにごみが付着していませんか。 (2)延長管、ホース、つぎてにごみが詰まっていませんか。 (3)パワーヘッドにごみが詰まっていませんか。	(1)各フィルターのお手入れをしてください。	P.19
		(2)ごみを取り除いてください。	−
		(3)ごみを取り除いてください。	P.20 P.21
	延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントでご使用になると、電源電圧の低下により、早期に本体のランプが点滅／点灯する場合があります。定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。		−
急に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する	●パワーヘッドを押しつけたり、ふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除していませんか。 ●ワイド曲がるロング吸口をカーテンなどに押しつけたりふさぐようにしてお掃除していませんか。	本体モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。 ●回復しにくい時は、スイッチを切ってから、もう一度運転をしてください。 ●回復後は、パワーヘッドに力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。	−
本体が運転しない	(1)電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 (2)本体にホースが確実に差し込まれていますか。	(1)しっかり差し込んでください。	P.6
		(2)「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。	P.2 P.3
パワーヘッドの回転ブラシが回転しないまたは回転しにくい	(1)パワーブラシが「切」設定になっていませんか。 (2)本体、ホース、延長管、パワーヘッドなどがしっかり接続されていますか。 (3)パワーヘッドがゆか面から浮いていませんか。 (4)回転ブラシ、空気取り入れ口、持ち上げ停止スイッチなどにごみなどが付着していませんか。 (5)延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントを使用していませんか。	(1)もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.7
		(2)しっかりと接続してください。	P.2 P.3
		(3)ゆか面から浮かせると止まる構造になっています。	P.9
		(4)ごみを取り除いてください。	P.20 P.21
		(5)定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。	−
パワーモニターが点灯しない	パワーブラシが「切」設定になっていませんか。	もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.7

故障かなと思ったら(続き)

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
本体から「ピー」という音が出る	本体にダストケースが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	−
電源コードが全部入らない、または引き出せない	電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを黄印まで引き出してよじれを直したあと、もう一度巻き込んでください。		−
排気や本体があたたかくなる(特に夏場)	空気の流れで本体モーターを冷却しているためで、異常ではありません。		−
排気から異臭が出る	(1)各フィルターにごみが付着していませんか。 (2)水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。	(1)各フィルターのお手入れをしてください。	**P.19**
		(2)水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。	**P.19**
確認してもまだ異常がある場合		**ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。**	**P.25**

アフターサービスと保証

使用中に異常が生じたときは

「故障かなと思ったら」**➔ P.22〜24****をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。**

●修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品(ホース、延長管、パワーヘッド)もご一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容

1 型式－**CV-SP10**

2 症状－**できるだけ詳しく**

保証について

この商品は保証書付きです。

●保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間は**お買い上げの日から1年間**です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

一般家庭用以外でご使用になるとき

●共同(寮など)でご使用になるなど、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換（パワーヘッドなど）が必要になることがあります。
お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検をなさってお使いになることをおすすめします。

●このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居される場合

●ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

●電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

部品の保有期間について

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、
製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

★長年ご使用の掃除機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●スイッチを押しても、運転しない ●電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする ●運転中、時々止まる ●運転中、異常な音がする ●本体が変形したり、異常に熱い ●ホースが破れている ●こげくさい“におい”がする ●その他の異常がある	▶	**ご使用 中止**	事故防止のため、すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談はエコーセンターへ

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

(受付時間) 9:00〜19:00 (365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

(受付時間) 9:00〜17:30(月〜土)、9:00〜17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。

●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。

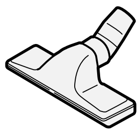
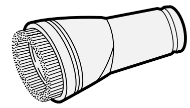
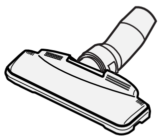
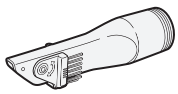
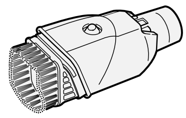
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

別売り部品

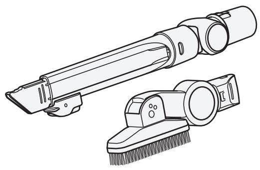
日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2009年10月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

●別売り吸口もご使用いただけます。➔ P.12、13

●ふとん用吸口(G-52)	●はたき吸口(D-H3)	●棚用自在吸口(D-TJ2)
 希望小売価格 1,785円 (税抜 1,700円)	 希望小売価格 3,990円 (税抜 3,800円)	 希望小売価格 1,260円 (税抜 1,200円)
●丸洗いフローリングヘッド(D-F3)	**●クルッと切替えブラシ吸口**	**●クルッとブラシ**
 希望小売価格 5,250円 (税抜 5,000円)	 サービスパーツ CV-PL8-009 クルッと切替えブラシ吸口 とご指定ください 希望小売価格 1,050円 (税抜 1,000円)	 サービスパーツ CV-SJ10-033(シャンパン) CV-SJ9-020(アクアマリン) クルッとブラシとご指定ください 希望小売価格 2,100円 (税抜 2,000円)

●付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

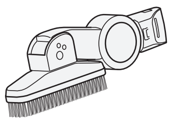
●ワイド曲がるロング吸口(D-SH5)



サービスパーツ CV-RP2100-016
ワイド曲がるロング吸口(D-SH5)
とご指定ください

希望小売価格
5,250円(税抜 5,000円)

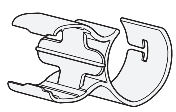
●ワイドブラシ(SH5)



サービスパーツ CV-RP2100-017
ワイドブラシ(SH5)
とご指定ください

希望小売価格
1,575円(税抜1,500円)

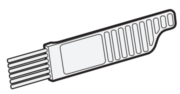
●吸口ホルダー(SH5)



サービスパーツ CV-RP2100-019
スイクチホルダー(SH5)
とご指定ください

希望小売価格
315円(税抜 300円)

●お手入れブラシ



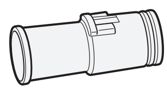
サービスパーツ
CV-SK20-001
お手入れブラシSK
とご指定ください
希望小売価格
420円(税抜 400円)

●サッとハンドル



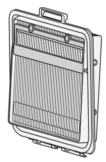
サービスパーツ
CV-SM8-008
サッとハンドルSM8
とご指定ください
希望小売価格
1,050円(税抜 1,000円)

●別売り部品接続用アタッチメント



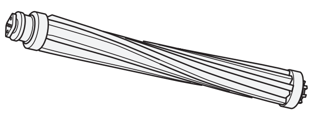
サービスパーツ
CV-SM10-033
アタッチメント(SM)
とご指定ください
希望小売価格
315円(税抜 300円)

●クリーンフィルター



サービスパーツ
CV-SM10-008
Bフィルタークミ SM
とご指定ください
希望小売価格
1,470円(税抜 1,400円)

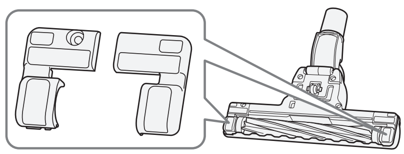
●回転ブラシ



サービスパーツCV-RP2100-015
ロータリブラシクミ(AP26)
とご指定ください

希望小売価格
2,520円(税抜 2,400円)

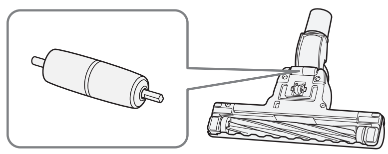
●ブラシホルダー(ハケ)



サービスパーツCV-RP2100-014
ジクウケカバーL,Rセット(AP26)
とご指定ください

希望小売価格
315円(税抜 300円)

●車輪



サービスパーツCV-SK20-022
ローラLセット
とご指定ください

希望小売価格
840円(税抜 800円)

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。
●車輪・ハケ・回転ブラシを交換する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様のご要望により部品交換いたします。
部品交換には、部品代のほかに交換作業費がかかります。

仕様

電　源	100V　50-60Hz共用	**本体寸法**	長さ330mm×幅255mm×高さ219mm
消費電力	1000W～約200W	**標準付属品**	ホース……………………………1本 パワーヘッド……………………1個 延長管……………………………1本
吸込仕事率※	610W～約80W		
運転音	62dB～約56dB	**付属応用部品**	サッとハンドル……………………1個 曲がるロング吸口(D-SH5)………1個 ワイドブラシ(SH5)………………1個 吸口ホルダー(SH5)………………1個 お手入れブラシ……………………1個 別売り部品接続用アタッチメント……1個 ティッシュペーパー(ダストケース装着)……1枚
集じん容積	0.4L		
コードの長さ	5m		
質　量	5.9kg(標準付属品を含む)		

※吸込仕事率は、ティッシュペーパー非装着時のものです。

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　　　**電話**

ご購入年月日　　　**平成**　　**年**　　**月**　　**日**

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03)3502-2111